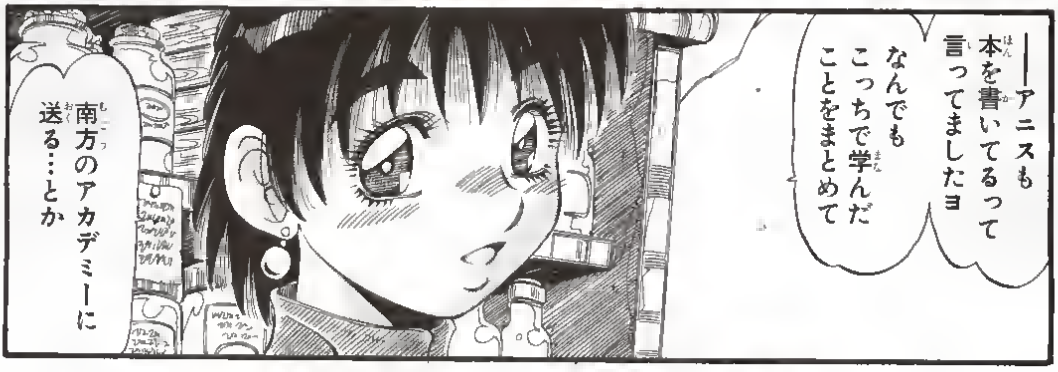
——でも
主な器材を
アカデミーに贈呈
した直後でしたから
あれで
精一杯でしたヨ
学生
増やしすぎ
なんだよね
実験器具が
足りないなんて
器材贈ったぶん
考慮して
くれても
いいと思うケドォ
——それって
本の評価とは
べつだと
思いますヨ
あ…やっぱし?
まっいっかァ
つぎはもっと
キテレツな物
書いちゃうもんネ
ふふふふ
ふふふふ
ふふ…

——キテレツといえば
あの南方のアカデミーから来たって娘どした？
すっとこどっこいにキテレツあつかいされたらアニスかわいそうだなァ
#エリーもネ


——アニスも本を書いてるって言ってましたヨ
なんでもこっちで学んだことをまとめて
南方のアカデミーに送る…とか

ふーん…まァ基礎は南方でやってただろォから
なんとかなるっしょ
——っと思います
あとはどうやって見聞を広めるか…ってとこだネ
あの娘お嬢様っぽいから冒険者レベル低そうだし…

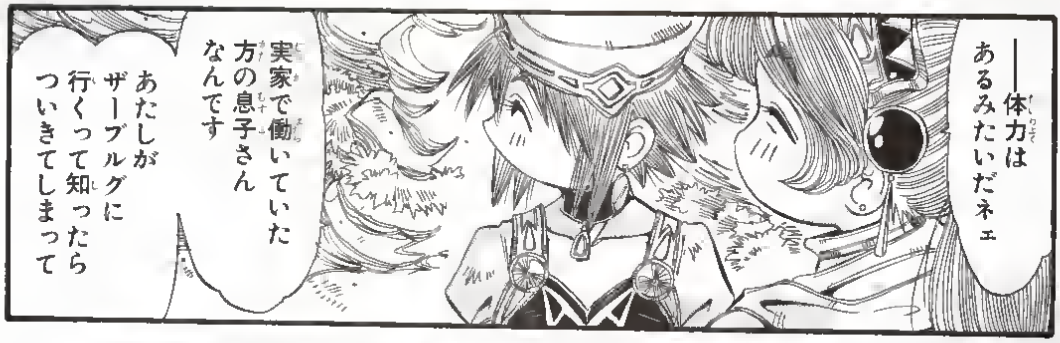
あの娘にくっついて歩いてるサイードってのも
いやあ……
早まりすぎたか…
なあんか足元バタついてる感じだったし
マリーさん…なに考えているんです？
ろっ？

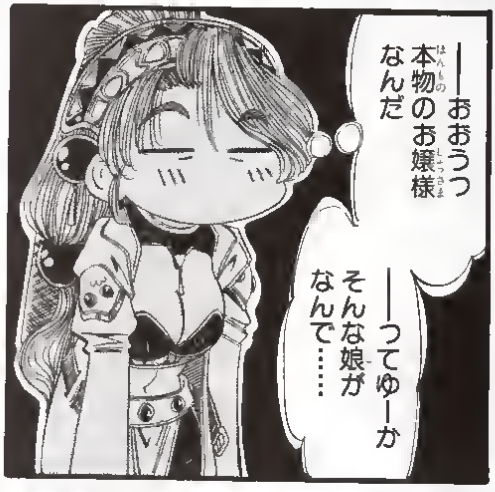
——てなわけで——

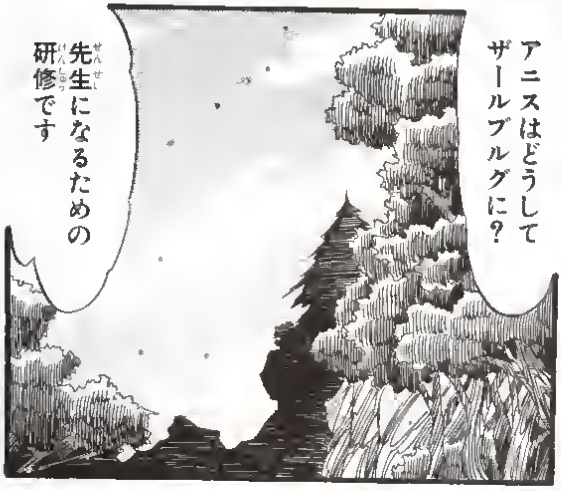
王立魔法学校
おはようございますイングリド先生
あらエルフィールどうしたの？
えーっとアニスの代わりに先生のお手伝いに来ました

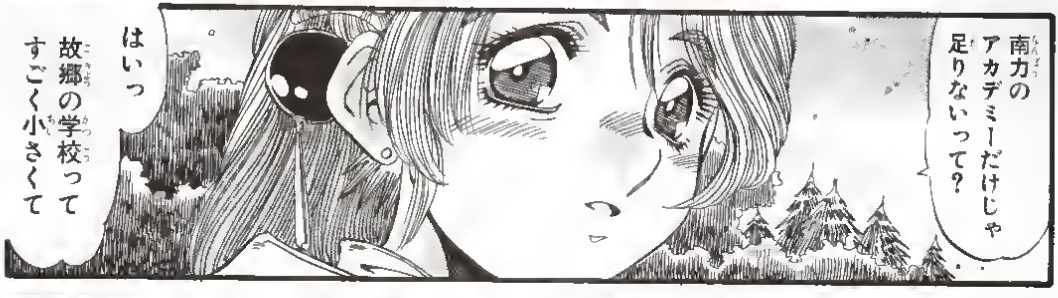
代わり？
はい
——ではアニスは街の工房？
見聞のため採取に行ってます
ひとりで？
いえ…マリーさんもいっしょです
なんでマルローネなの？
あ…ジャンケンで負けちゃって
ホッ
—まァ確かに協力してあげてとお願いしたケド
冒険はマリーさんのほうが慣れてますし
—マルローネジャンケン強いの？
—あたしが弱いのかな…
すっとこどっこい感染らなきゃいいケド

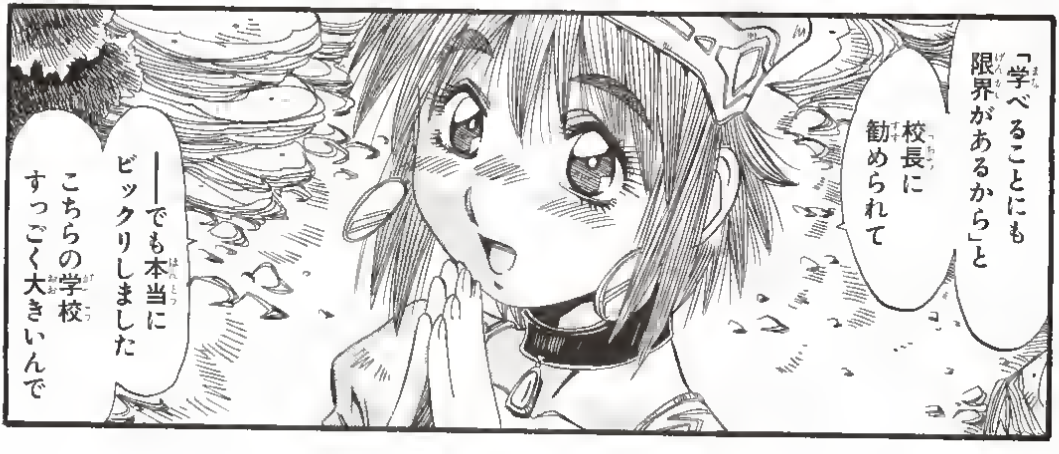
——マルローネさん
少し休みませんか？
なぁに
もうバテ
ちゃったの？
いえ 私ではなくて
お嬢様がお疲れかと…
あたしならだいじょうぶだヨォ
サイード疲れた？
いえいえ！
私のご心配は無用です

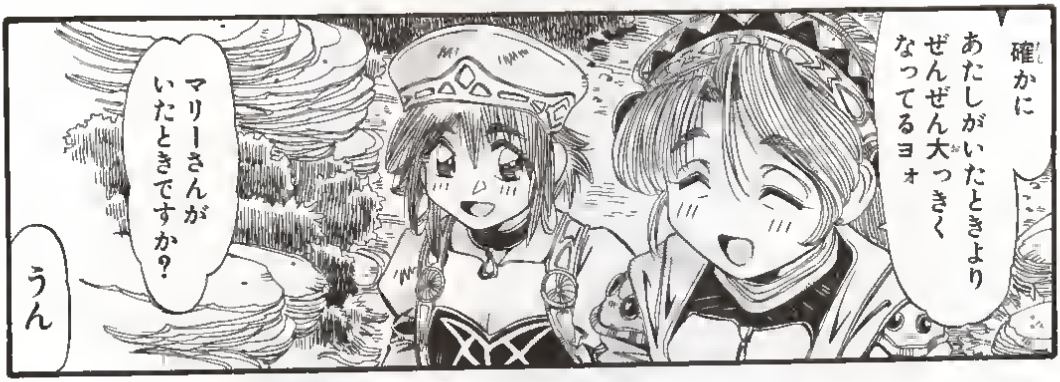

――体力は
あるみたいだネェ
実家で働いていた
方の息子さん
なんです
あたしが
ザーブルグに
行くって知ったら
ついきてしまって

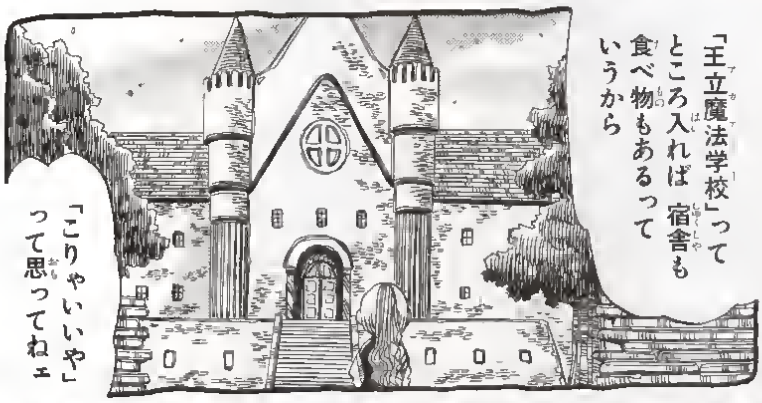

――おおうつ
本物のお嬢様
なんだ
――ってゆーか
そんな娘が
なんで……

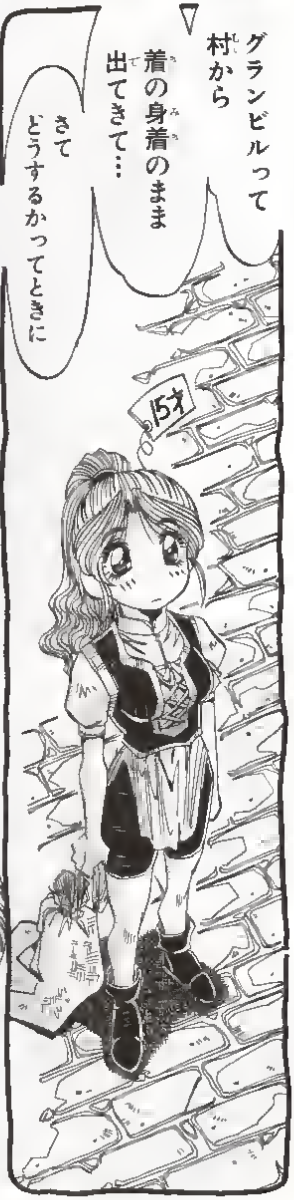

アニスはどうして
ザールブルグに？
先生になるための
研修です


南力の
アカデミーだけじゃ
足りないって？
はいっ
故郷の学校って
すごく小さくて

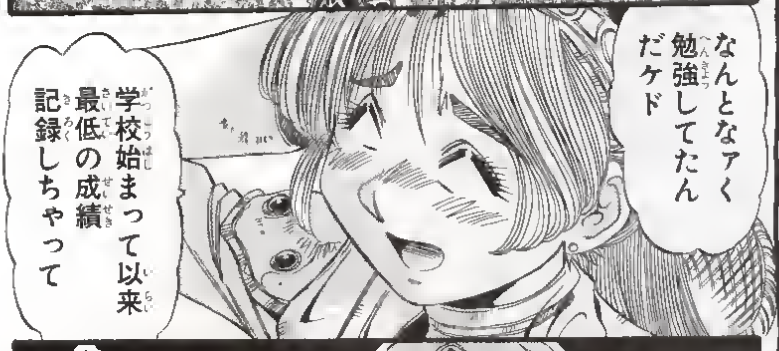

「学べることにも
限界があるから」と
校長に
勧められて
――でも本当に
ビックリしました
こちらの学校
すっごく大きいんで


確かに
あたしがいたときより
ぜんぜん大っきく
なってるヨォ
マリーさんが
いたときですか？
うん


「王立魔法学校」って
ところ入れば 宿舎も
食べ物もあるって
いうから
「こりゃいいや」
って思ってねェ


グランビルって
村から
着の身着のまま
出てきて…
さて
どうするかってときに
15才

えっ？


なんとなァく
勉強してたん
だケド
学校始まって以来
最低の成績
記録しちゃって

ぼくぅ？
——まだ
更新されて
ないんだヨネェ

……冗談ですか？

うんにゃ

イングリド先生怒った怒った…

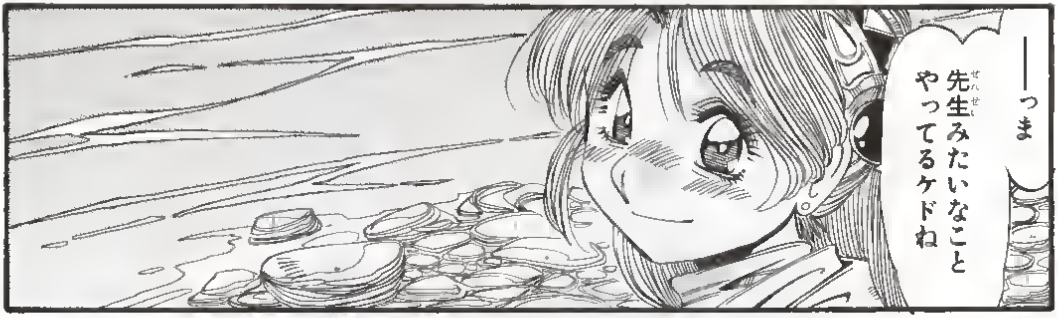
ゴゴゴ

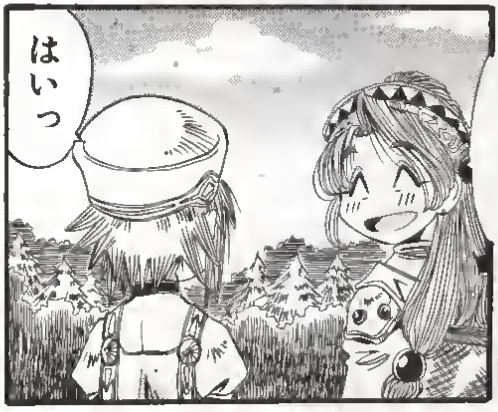
本当に評価されたんだって実感したんだ
おお
本当の評価ですか？
そっ
べつに学校で受ける評価がまちがってるってことじゃなくて
点数じゃない心要な物としてね
そしたら…なんかいろいろ作りたくなって勉強しはじめてた
学校の寮にいたときはそんなこと思いもしなかったのに

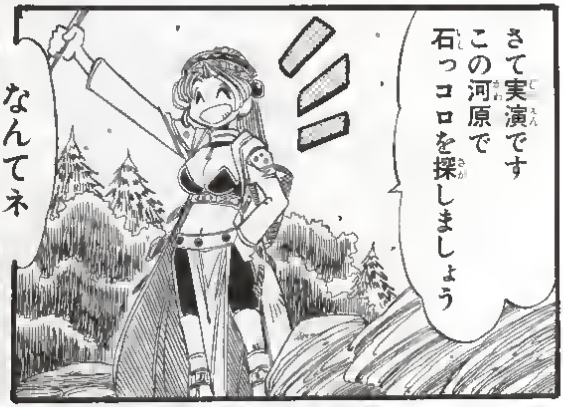
錬金術は
必要とされてる
物が作れる
想いに
こたえられる
――それは薬だったり
道具だったり
アクセサリーとか
おもちゃ
ときには
バクダンもね
――想いに
こたえる学問
そっ
あたしは
そう思ってる
だから
どこまで
こたえられるのか
どんなこたえが
だせるのか
知りたくて

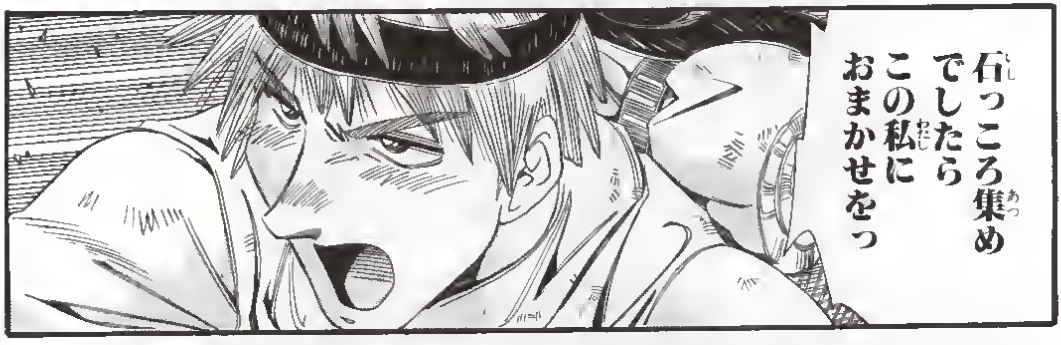
いまも追い続けてる
――でも
こたえちゃいけないことって
――ありますヨね
――それがわかってれば
先生やっていけるヨ

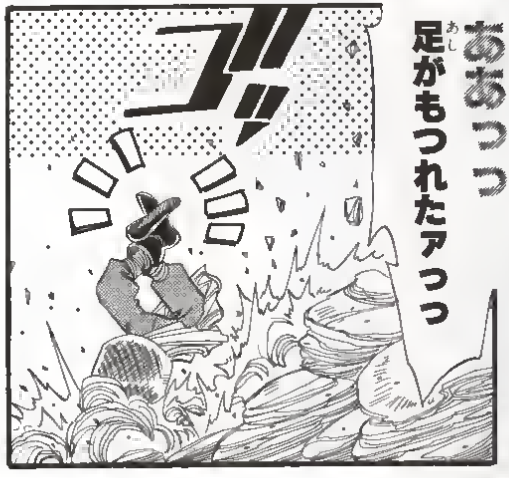
——あと
やることって
いえば
学校では
用意されてた
教材を
自分の足で
探すこと
新しい材料を
その目で見つけられること
——かな?
はいっ
あの…
ひとつお聞きして
いいですか?
マリーさんは
先生になろうって
思ったこと
ないですか?
うーん
どうかなァ
これ以上
すっとこどっこい
増やしてもねエ


——っま
先生みたいなこと
やってるケドね

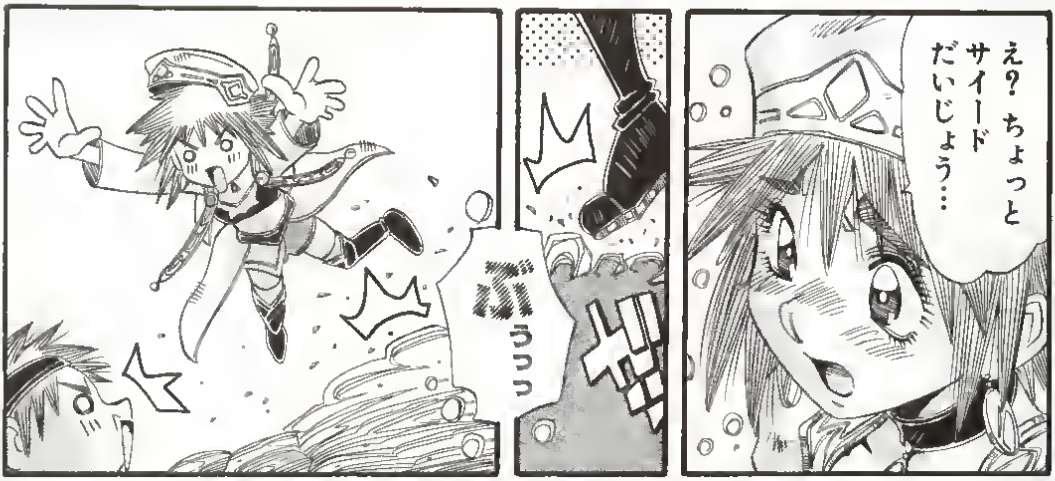

はいっ

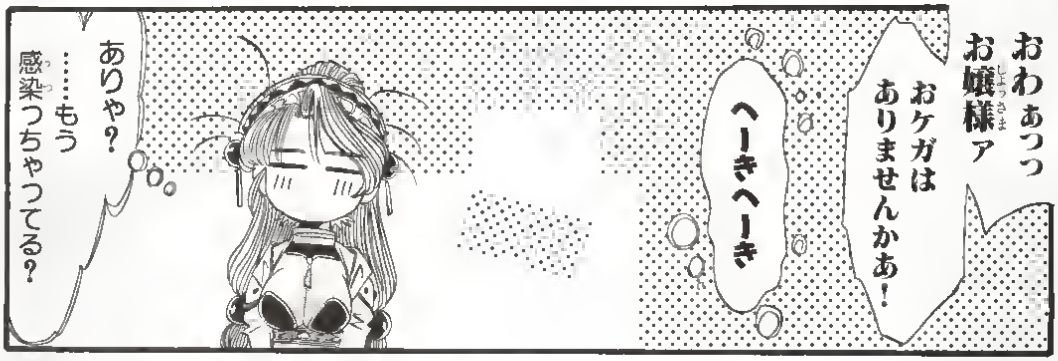

なんてネ
さて実演です
この河原で
石っコロを探しましょう


石っころ集め
でしたら
この私に
おまかせをっ


ゴ!!
ああっっ
足がもつれたァっっ

ただのカンじゃ
なくってネ……
りゃ…
わって





——そんなこんなで——

●おしまい●

Chapter.6

特別収録

『ユーディーのアトリエ ～グラムナートの錬金術士～』楽譜集

ユーディーのアトリエ　リサの村BGM

リサの初恋物語

作詞 土屋　暁　　作曲 編曲 土屋　暁

私が笑えば
あなたも笑うの
今日もあなたの心を洗うの

あなたが怒れば
私も怒るわ
それが私のあなたへの愛情よ

あ〜…
瞳見つめれば
今日の憂鬱も
全部吹き飛ぶのよ
あなたの笑顔で

心のキャンディ
包んだら
羊の笛ならして
forever　love'n'

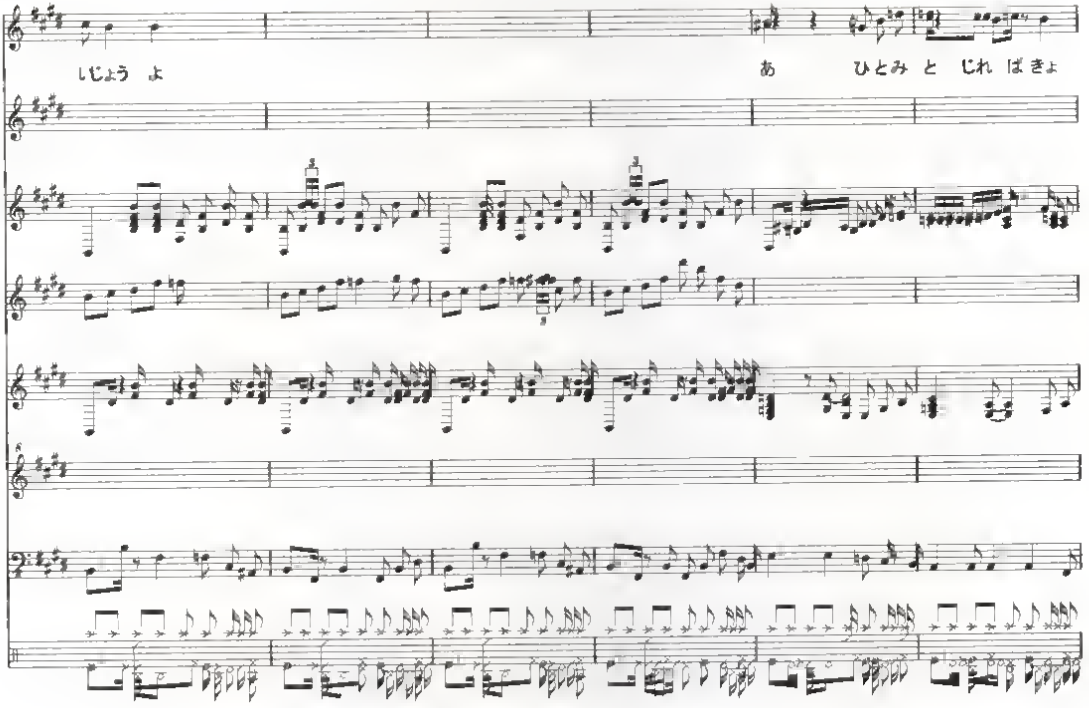
あ〜…
今日もあなたは
その腕いっぱいの
ハート抱えて
家に遊びに来るの

腕によりかけて
作るのよ
あなたの好きな
ラムのまるやき！

♩= 120
Melo
Piccolo
Accordion
Violin
Guiter
Strs
Bass
Rythm
わたしが　わらえ　ば　あなたも　わらう　の　きょう

もあなた の こ こ ろを あ ら うの
あな

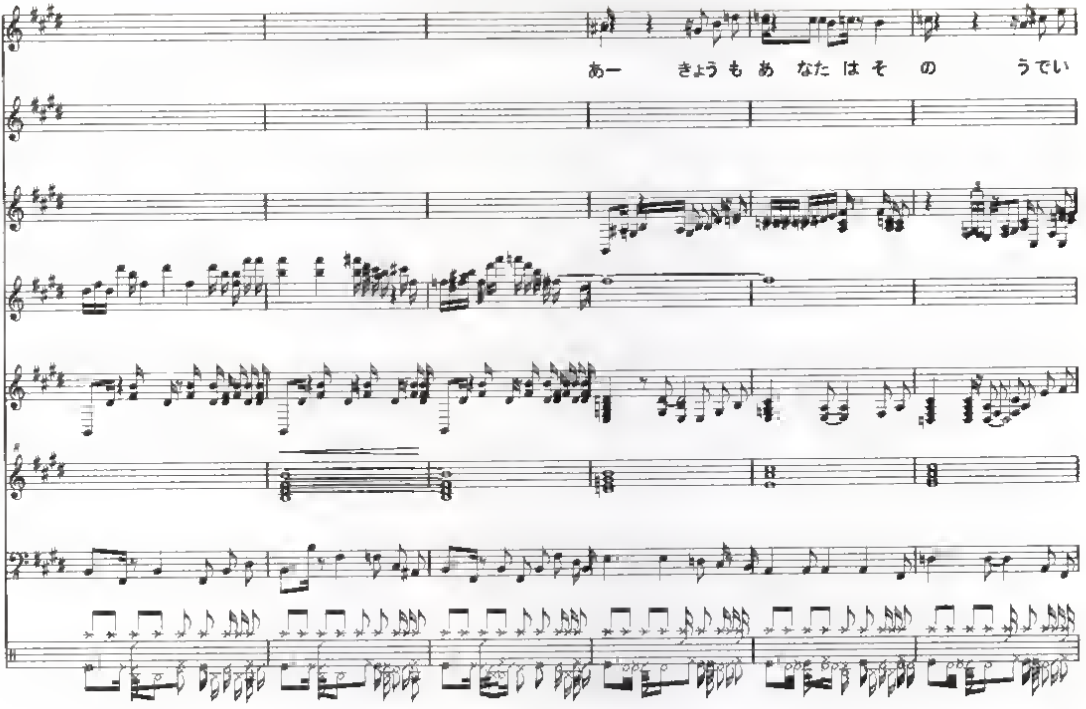
たが おこれ ば わたしも おこる わ それ がわたし の あ な たへ のあ


いじょう よ
あ ひとみ と じれ ばきょ

お うのゆ ううつ も ぜん ぶ
ふ きと ぶのよあ なた の え が お で

こ ころ の キャ ン ディ ー つつん だ ら ひつ じ のふえ な らし て for-

ever love'n


あー きょうも めなたはそ の うでい

っぱい の ハー ト か かえていえ にあそ び に くるの うでによ り

か けて つくる の よ
あな た のすきな ラム の まるやき

小曲集より

カラック金融商社

作詞-土屋 暁　作曲 編曲-土屋 暁

困った　金が足りないよ　どうしよう
狂った　この町に住む（あいつだ！あいつに頼もう！）
パラック通りの名物　その名は
カラック金融商社！（世界一の高利貸しだぜ！）

ユーディーのアトリエ&アトリエシリーズ ビジュアルファンブック

2003年4月14日　初版発行
ISBN4-7577-1442-4

■**発行人**／浜村弘一
■**編集人**／青柳昌行
■**編集長**　新井創士
■**監　修**　株式会社ガスト
■**カバーイラスト**／及羽 純
■**制作協力**／株式会社バンプレスト・株式会社バンプレソフト イースリースタッフ
■**コミック**／縫智善彦
■**構成・監修**　日比野清隆
■**編　集**　株式会社フィールドワイ
■**デザイン**／秋山美保
■**業務部**　神田雅代
■**印　刷**　東京書籍印刷株式会社
■**発行所**　株式会社エンターブレイン
〒154-8528　東京都世田谷区若林1-18-10
☎03-5433-7850（営業局）

■**SPECIAL THANKS**
増田一繁（株式会社ガスト）
川浦由香（株式会社ガスト）
吉池真一（株式会社ガスト）
土屋　暁（株式会社ガスト）

©GUST CO. LTD 1997/Illustration 桜瀬琥姫
©GUST CO. LTD 1998/Illustration 山形伊佐衛門
©GUST CO. LTD 2001/Illustration 山形伊佐衛門
©GUST CO. LTD 2002/Illustration 及羽 純
©GUST CO. LTD 2003/Illustration 及羽 純
©GUST CO. LTD ©E3STAFF ©BANPRESTO 2003
©2003 ENTERBRAIN INC.

■本書は著作権上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について 株式会社エンターブレインから文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写 複製することは禁じられています。
■乱丁本 落丁本は お手数ですが小社営業局までお送りください。送料は小社負担にてお取替えいたします。
■定価はカバーに表示してあります。
■ゲームの内容や攻略に関するご質問につ てはお答えできませんので ご了承ください
■本書に関するお問い合わせ 弊社カスタマーサポート（電話 03-5433-7808）まで お願いいたします。お問い合わせの受付は 祝祭日を除く月曜から金曜までの午後12時から午後5時までとなっております。

ISBN4-7577-1442-4
C0076 ¥1800E
9784757714427
株式会社 エンターブレイン
定価 本体1800円＋税
1920076018008

ユーディーのアトリエ&アトリエシリーズ
ビジュアルファンブック

ATELIER JUDITH & ATELIER SERIES
VISUAL FAN BOOK

MAGICAL CUTE